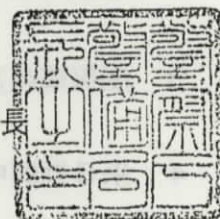




警察庁丙備発第205号
平成21年10月9日

厚生労働省大臣官房長 殿

警察庁警備局長



オバマ・アメリカ合衆国大統領の来日に伴う警備協力について（要望）

貴台におかれましては、平素から警察運営に際して御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます次第です。

さて、来る11月中旬ころ、オバマ・アメリカ合衆国大統領が来日する予定です。

平成13年9月11日に発生した同時多発テロから8年余が経過しましたが、依然として国際テロ情勢は厳しいものがあり、同大統領の来日に際しては、同大統領一行や日米両国の関連施設等を対象とした「テロ、ゲリラ」事件等の発生が懸念されます。

警察では、同大統領を始めとする関係者の安全と諸行事の円滑な遂行等を確保するため、警備の万全を期することとしております。

貴台におかれましても、本件警備の重要性をご賢察の上、次の事項につきまして指導を強化されるなど適切な措置を講じられますようお願いいたします。

○ 各省庁共通要望事項

- 1 自主警備体制の強化
- 2 連絡体制の確立
- 3 関係情報及び不審者情報等の警察への通報連絡の徹底
- 4 来日期間中の宿舎、行き先地等関連地域における工事等の自粛
- 5 業務用車両、身分証明証、制服等の管理及び盗難・紛失時の警察への連絡の徹底

○ 個別要望事項

- 1 来日期間中における救急医療体制の確立
- 2 NBCテロ対策に係る警察との連携の強化
- 3 病院、薬局、研究所等における毒劇物、特定病原体等危険物質管理の強化及び指導